

春の津軽線の魅力を首都圏向けに発信します！！

JR東日本盛岡支社では、観光情報の発信と青森県内のローカル線の利用促進を目的として、2020年3月～6月まで「春の津軽線」をテーマに沿線の魅力を紹介します。津軽線キャラクター「津軽蟹夫（つがる かにお）」や新キャラクターの家族を使用した動画を作成し、東日本エリアの主要駅やホームページを活用して宣伝展開を行っていきます。

【実施内容】

沿線の観光素材と津軽の春の味覚である「トゲクリガニ」をデザイン化した津軽線キャラクター「津軽蟹夫（つがる かにお）」や新キャラクターとなる家族を組み合わせたコミカルな動画を作成し、「春の津軽線」をテーマに沿線の魅力発信を図ります。

1. JR東日本盛岡支社ホームページ内の青森県内ローカル線紹介ページ（新設）等での魅力発信

期間：2020年3月23日（月）14時

内容：青森県内のローカル線紹介ページを新設し、沿線の観光情報や旬の食材などを紹介。



←新設ページ（イメージ）



↑ PR動画カット（イメージ）

※JR東日本全エリア（118箇所）に設置している「デジタルサイネージ」等でも作成したイメージ動画を放映します。

2. 新キャラクター「津軽蟹夫」の家族登場

期間：2020年3月23日（月）14時

内容：「津軽蟹夫」の家族とともに津軽線を盛り上げていきます。



(1) 津軽蟹夫（つがる かにお）プロフィール

2012年5月12日に「リゾートあすなろ津軽号」の利用促進のため、勇退しているトゲクリガニ観光駅長蟹田駅に設置した水槽に本物の「トゲクリガニ」をいれて動物駅長として就任。1年後に観光駅長を勇退して、海に返った。その後、イラストのキャラクターを引き続き使用。「リゾートあすなろ津軽蟹夫号」の臨時運転時など津軽線のキャラクターとして定着した。



観光駅長キャラクター「津軽蟹夫」

(2) 津軽蟹味（つがる かにみ）プロフィール※新キャラクター

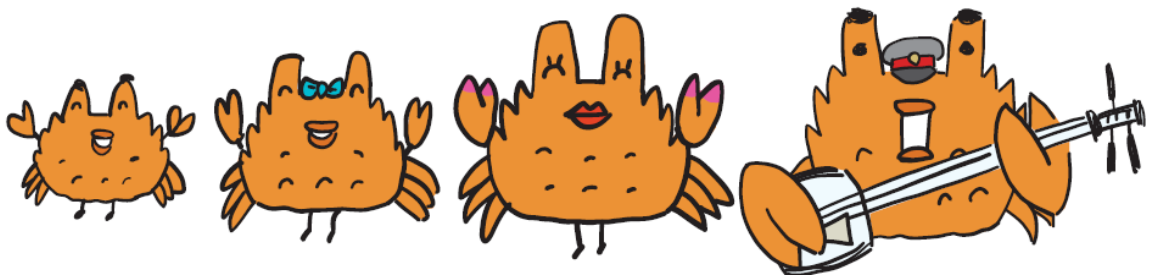
1年ぶりに海に返ってきた津軽蟹夫の三味線の音色に惹かれ、再び、陸奥湾で出会う。以前、津軽蟹夫に二股を掛けられていたことも忘れ、ミソラ・クリゾーの一男一女に恵まれる。

(3) 津軽ミソラ（つがる みそら）プロフィール※新キャラクター

おてんばの蟹娘。陸奥湾に留まらず、津軽海峡まで出ていくことも。潮風に身を任せながら、美しい空に見とれて帯島付近で休憩することをこよなく愛している。

(4) 津軽クリゾー（つがる くりぞー）プロフィール※新キャラクター

シャイな蟹男児。蓬田村9地区付近の海水を好んでおり、玉松海水浴場の賑わいを遠くから眺めている。ミソラとは正反対な性格。



津軽クリゾー（長男）

津軽ミソラ（長女）

津軽蟹味（妻）

津軽蟹夫

【参考：トゲクリガニ】

いわゆる「毛ガニ」と同様、クリガニ科の仲間です。例年、4月から5月頃まで陸奥湾内で漁獲されます。ちょうど県内の桜の見頃に旬を迎えることから青森では古くから「花見ガニ」「桜ガニ」とも呼ばれ、お花見でも楽しまれています。毛ガニよりも少し小ぶりで、大きいものは1kgで3~4ハイ（250~350g/1パイ）、小さいものでは1kgで6~7ハイ（150g前後/1パイ）程度の大きさになります。



あおりり産品情報サイト（青森県農林水産部総合販売戦略課）より